

SAGA FACTORY BRANDING

佐賀ファクトリーブランディング

Report 2020 > 2021

ものづくりの未来をアップデート

佐賀県経済を支えるものづくり産業の最重要課題である人手不足を解消するため、「モデル企業ブランディング」と「みんなのファクトリーグランプリ」という2つの取組を通じて、ものづくり産業に対する「きつい」、「危険」などのマイナスイメージを払拭してイメージアップや価値向上をサポートし、働きがいと働きやすさを享受できる、魅力あるものづくり産業の実現を目指します。



SAGA FACTORY BRANDING



八雲製作所

SEASON1 2019

八雲製作所は、創業から80年以上のプレス加工の専門メーカーで、職場環境の整備が遅れていたため、「きつい、汚い、危険」の3Kイメージが付きまといました。そこで、ものづくりの3Kイメージから脱却するため、企業理念やVISIONを問い直し、さらにはVI(ビジュアルアイデンティティ)のリデザイン、HP等のコミュニケーションツールや空間のマスタープラン等を作成。未来の町工場に向けた準備を整えました。



SEASON2 2020

課題解決の意識を持つ社員を育て、チームワークを生み出すための環境整備。

ブランディングチーム：テツシンデザイン

工場空間でのサイン設置

「企業の価値は人。社員一人ひとりが顧客が困っている課題を解決するという意識を持って考える癖をつけてほしい」。この社長の想いを浸透させるため、企業の新VISIONや社員のアクションマインドをサインとして工場空間に設置。社員が普段働く場所にサインを設置することで社員の意識変革を促しました。また、サインの設置はクライアントなどへのコミュニケーションツールとしても有効に機能します。



OPEN FACTORYへの挑戦

自分たちのモノづくりの魅力を地域の子どもたちに伝えるため、県主催のイベントの機会を捉えて、OPEN FACTORYに挑戦しました。工場見学やものづくり体験ワークショップ等を通じて、地域の子どもたちとの交流が生まれ、社員のモチベーションアップやチームワークの向上につながりました。



SEASON3 2021

空間リノベーションとOPEN FACTORYで3Kイメージを脱却。

OPEN FACTORYの取組は継続しつつ、食堂のコミュニティスペース化やトイレの改修などを通じて、ものづくりの3Kイメージを脱却します。

未来像

かつての3Kイメージから脱却し、中小企業としての強みを活かして、社員や地域に必要なとされるファクトリー像の確立を目指します。

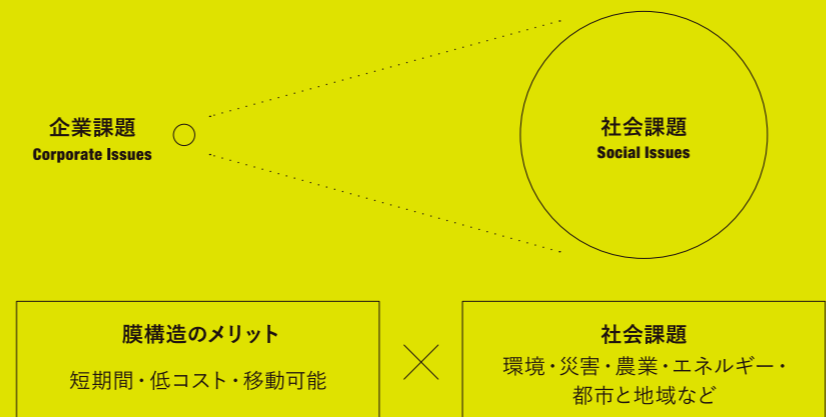
山口産業

YAMAGUCHI NEW SHELTER INDUSTRY Inc.



SEASON1 2019

山口産業は、テントハウスの総合メーカーで、業界トップクラスのシェアを誇っているにもかかわらず、県内での認知度の低さ等により、優秀な人材の確保に苦戦していました。そこで、サステナブルな建築×社会課題という膜構造の新たな可能性を追求。「WRAP THE FUTURE(未来を包み、守り、進む)」という新しいVISIONを掲げて「メンブレンラボ」を設立し、CI(コーポレートアイデンティティ)を一新。活動内容はタブロイド誌で発信するなど、様々な社会課題に挑戦する企業としての姿勢を打ち出しました。



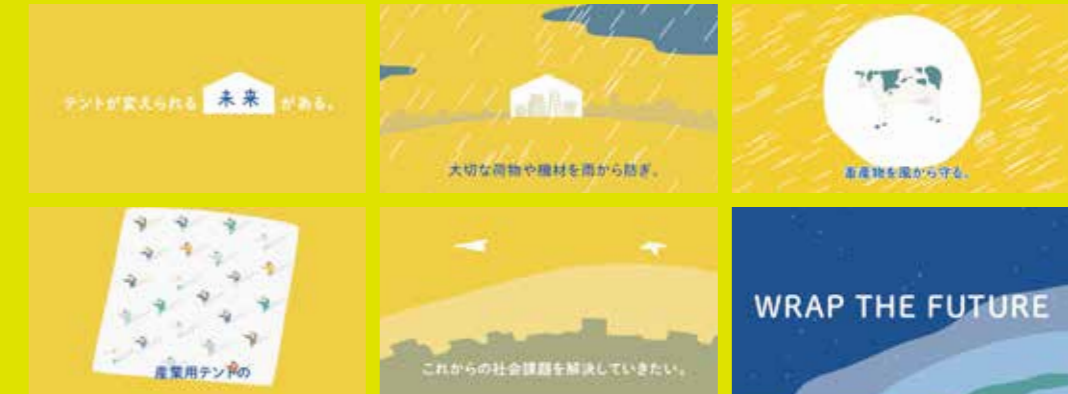
SEASON2 2020

未来を描く新VISIONの視覚化。社内への浸透と社外へ発信するための体制づくり。

ブランディングチーム：永田 宙輝、田崎 佑樹、塩浦 政也、廣川 淳哉、テツシンデザイン

新VISIONムービーの制作

ブランディングは中期的な経営戦略であり、新VISIONを社員一人ひとりが理解し、事業の隅々にまで浸透させることが必要です。山口産業は、社内浸透の方法として新VISIONを視覚化したムービーを制作しました。新VISIONムービーでは、アニメーションを用いて山口産業の技術が社会を変えていく未来を描き、老若男女問わず理解しやすい表現としました。これにより新VISIONの社内への浸透はもちろん、誰もが山口産業が目指す未来をイメージすることができるようになりました。



タブロイド誌 vol.2 の制作

タブロイド誌vol.2のテーマは、「都市を、膜がどう変えられるか?」。変わりゆく都市環境に対して膜構造の新たな可能性をワークショップ形式で追求し、その成果をタブロイド誌としてまとめました。タブロイド誌は人材確保のためのコミュニケーションツール等として活用していきます。



SEASON3 2021

新VISIONとその取組を発信し、県内外での認知度向上を図る。

膜構造の新たな可能性を追求し続ける「メンブレンラボ」。これらの取組を様々なコミュニケーションツールで発信し、県内外での認知度を向上させます。

未来像

膜構造の新たな可能性を追求して、様々な社会課題の解決にチャレンジするファクトリー像の確立を目指します。



キラリと光る魅力あるものづくり企業の取組を映像化。 県内のものづくり企業と高校生との 新たな出会いの場をつくる。

本グランプリでは、「働きがい」や「働きやすさ」を実感することができる魅力的な職場づくりに取り組んでいる県内のものづくり企業をフューチャーし、ものづくり産業の未来を担う高校生に知ってもらう機会を提供しました。

グランプリの開催に当たっては、公募により出場企業4社を選定し、各企業独自の取組や魅力をPR動画として映像化し、その中で高校生が最も魅力を感じた企業に投票してもらうことで、2020年度のBEST FACTORYを決定しました。

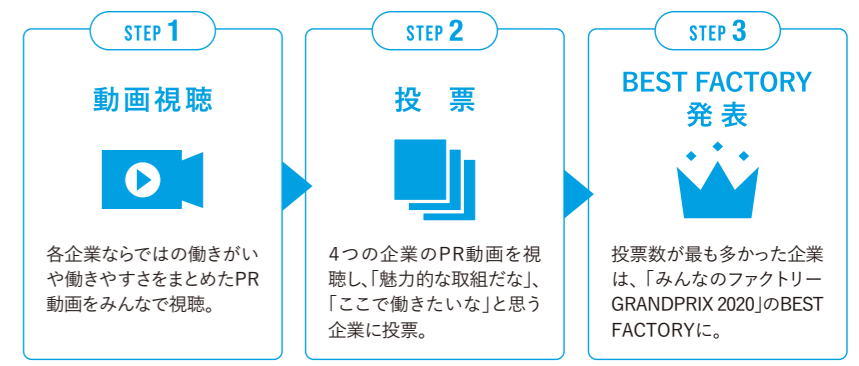
この取組により、ものづくり企業と高校生との距離を縮め、出場企業以外の企業にもPR動画や高校生からのコメント等を参考に魅力的な職場づくりに取り組んでいただくことで、県内のものづくり産業全体のイメージアップを目指します。



県内の工業系高校2年生

約1,200人

の投票結果で、BEST FACTORYを選出



高校生のコメント

4つのものづくり企業の中から高校生が選んだ、働きたいと思ったポイントをコメントしてもらいました。

<p>山口産業株式会社</p> <p>チャレンジ精神がとてつもない会社だなと思った。幅広い事業領域で活躍ができるやりがいのある仕事だと感じたし、将来性を感じた。</p>	<p>九州精密工業株式会社</p> <p>ミクロン単位という本当に精密な歯車を作ることに対する責任感や難しさがあって、その分、作り上げたときのやりがいや達成感がすごいただろうと思った。</p>	<p>聖徳ゼロテック株式会社</p> <p>職場の雰囲気や働きやすさ、細かいことでも社長に意見できる「なんでも提案書」は魅力的だし、社長が社員を大事にしているところが良い。</p>	<p>丸秀醤油株式会社</p> <p>機械化できるところは機械化しながらも、古き良き伝統製法を守り続ける県内で唯一の醤油蔵というところに魅力を感じた。</p>
<p>入社1年目から新製品開発のプロジェクトに参加できるのはかなり嬉しい。パステル休暇やフレックスタイム制も魅力的。</p>	<p>海外旅行などのイベントがあり、日本だけではなく世界にも目を向けているところが魅力的。工場内もきれいで快適な職場だと感じた。</p>	<p>平均年齢も低く、女性も多いなど働きやすい職場だと感じた。また、家族や友人との時間も大切にしたい社員へのサポートも充実していると感じた。</p>	<p>味噌作り教室などを通して地域貢献活動や自分が作った製品が並んだり、その感想を聞くことができたところにやりがいを感じた。</p>

みんなのファクトリー GRANDPRIX 2020



佐賀県

BEST FACTORY



山口産業株式会社

山口産業 YAMAGUCHI NEW SHELTER INDUSTRY Inc.

テントで街を、未来を、変えていく。

膜構造建築物の提案・製造を通して、幅広い事業領域で課題解決に取り組んでいる山口産業。様々な社会問題や難しいチャレンジにも、膜構造の新たな可能性を信じ、「挑む価値がある」と考えています。不可能と思われるほどの困難の先には、きっと今まで見たことのない世界が待っているはず。

受賞コメント

BEST FACTORYに選んでいただいて非常に光栄ですし、とても嬉しい気持ちでいっぱいです。テントは大きいものなので、みんなで作り上げていくものです。その過程では誰か1人がやるより、協力し合いながら、みんなの力を結集していくことを意識しています。

自分がどんな仕事をして、そこで始める仕事を好きになってもらいたいですし、好きということから仕事楽しくなることもあると思うので、自分が何か始めることを好きになることから始めてもらいたいです。



代表取締役 山口 篤樹

PR動画 受賞動画

GOOD FACTORY



九州精密工業株式会社

世界一の歯車を造る、
歯切工具メーカー。

日本でも数少ない「歯車製造工具」の専門メーカーである九州精密工業。時代の変化とともに高度化するユーザーニーズに応え、より高精度で高品質の製品を提供しています。高い技術力で製造された工具は、様々な分野で使用される歯車を生み出しており、ものづくりの原点を味わうことができます。

KSK



PR動画



聖徳ゼロテック株式会社

社員のライフスタイルを大切に、
多様性のあるFACTORYを目指す。

10円玉から航空機の製造に至るまで、様々な分野で使用される金型を製造している聖徳ゼロテック。現場の些細な意見も積極的に取り入れ、製品の品質向上や働きやすい環境づくりに取り組んでいます。時代のニーズにいち早く対応し、新しい視点から新しい技術を開発するため、日々挑戦を続けています。



PR動画



丸秀醤油株式会社

佐賀から日本の伝統文化を
世界に伝えていく。

100年以上積み重ねてきた麹と天然醸造の技術を今も守り続けている丸秀醤油。伝統製法を守りつつ、蔵開きやみそ作りワークショップなど、より多くの人に発酵を身近に感じてもらう取組も行っていきます。文化を知って味わい、暮らしをより豊かに。醸造食の文化をみなさんの生活に浸透させていきます。



PR動画